

# 復旧・復興に向けて全力投球

## 空間放射線量率の測定結果

単位：マイクロシーベルト/時間

測定場所	測定高	7/12	7/13
加美町役場	1m	0.08	0.08
	0.5m	0.08	0.08
小野田支所	1m	0.12	0.12
宮崎支所	1m	0.20	0.18
中新田小学校	0.5m		0.09
広原小学校	0.5m		0.08
鳴瀬小学校	0.5m		0.08
上多田川小学校	0.5m		0.35
東小野田小学校	0.5m	0.20	
西小野田小学校	0.5m	0.34	
鹿原小学校	0.5m	0.22	
宮崎小学校	0.5m	0.26	
旭小学校	0.5m	0.17	
賀美石小学校	0.5m		0.22
中新田中学校	1m		0.08
小野田中学校	1m	0.15	
宮崎中学校	1m		0.17
おのだひがし園幼稚園部	0.5m	0.12	
おのだひがし園保育園部	0.5m	0.19	
おのだにし園幼稚園部	0.5m	0.28	
おのだにし園保育園部	0.5m	0.31	
みやざき園	0.5m	0.31	
賀美石幼稚園	0.5m		0.34
中新田保育園	0.5m		0.05
中新田幼稚園	0.5m		0.09
小鳩幼稚園	0.5m		0.07

- いずれも健康に影響を与えるレベルではありません。
- 文部科学省が示す屋外活動の制限基準値は、毎時3.8マイクロシーベルトです。

町では、宮城県から貸与された簡易型放射線モニタ「PA1000Rad」を用い、役場、各支所、小中学校、認定こども園、私立幼稚園など計25か所で空間放射線量率の測定を開始しました。

町では、宮城県から貸与された簡易型放射線モニタ「PA1000Rad」を用い、役場、各支所、小中学校、認定こども園、私立幼稚園など計25か所で空間放射線量率の測定を開始しました。

町で購入した放射線測定器（RAEシステム製Dose RAE2）3台と県貸与機器の合計4台を使用し、継続的に測定していきます。

県内の役場や学校等の放射線量率の測定結果が県のホームページで公表されました。加美町を始め、宮城県内における空間放射線量率（7月13日現在）は、健康に影響を与えるレベルではないことが確認されています。

## 空間放射線量率の測定結果を公表

### ◆災害対策本部の対応

- 7/6～13 第61～62回 避難者の支援についての検討。放射能測定について検討。
- 7/6 義援金配分委員会で2次配分について検討。
- 7/11 り災証明書で半壊以上の方を対象に、損壊家屋の解体撤去事業について説明会を開催。

## 2次配分金が振り込まれます

義援金受付団体並びに宮城県に寄せられた義援金の第2次配分額が決定しました。町では、第4回加美町義援金配分委員会を7月6日に開催し、町に寄せられた義援金の第2次配分について、次のとおり決定しました。（ ）書きは、1次配分を含めた金額となります。（単位：円）

支給対象		町	県	義援金受付団体※	計
人的被害	死亡・行方不明者	15万 (30万)	— (15万)	50万 (85万)	65万 (130万)
	全壊	15万 (30万)	5万 (15万)	50万 (85万)	70万 (130万)
住宅被害	大規模半壊	10万 (20万)	3万 (10万)	47万 (65万)	60万 (95万)
	半壊	7万 (14万)	3万 (5万)	27万 (45万)	37万 (64万)
	母子・父子世帯(半壊以上)		20万 (20万)		20万 (20万)

※義援金受付団体…日本赤十字社、中央共同募金会、日本放送協会、NHK厚生文化事業団

## 加美町の受入人数

避難所：中新田交流センター  
 南相馬市 3人  
 南三陸町 44人  
 避難者合計 47人  
 【7月15日現在】

## 町内家庭への避難者数

震災に伴う他市町村から加美町への避難者数  
 人数 132人  
 【7月15日現在】

## 震災対応法律相談のお知らせ

震災による仕事の停止や解雇、家屋の倒壊など、震災直後に被害を受けられた方もおいでになられることと心配しております。仙台弁護士会の協力を得て、今回の震災に係る法律相談を実施し、地震に関する相談を受け付けます。

- 日時** 7月25日(月) 午前10時～午後4時  
**場所** 中新田福祉センター  
**受付相談** 生活全般、借家関係、借地関係、自動車関係、労働関係、保険関係、相続関係など  
**問合せ** 加美町社会福祉協議会 ☎63-2547  
 ※申し込みは不要です。直接会場までおこください。

## ◆「感謝のうた」のCDを町に寄贈

6/27日、「感謝のうた」のCDが、感謝のうたを拡げる実行委員会(福島京子委員長)(左から3人目)から佐藤町長へ手渡されました。



## ◆数々の支援に感謝

町との災害協定等に基づき、多くの団体・企業をはじめ、個人からも多数提供された、食料品、生活用品など様々な物資をいただき、ありがとうございます。これらの物資は、避難された方々への救援に活用させていただきました。(順不同、敬称略。7月6日現在)

- つばさ歯科医院 …… ポロシャツ、入れ歯洗浄剤、図書等
- 菅原精米工業(株) …… 冷麦、めんつゆ等
- イセ食品(株) …… 卵、楽天卵等
- 資生堂販売(株)東北支社 相田文枝 …… ゼリー等
- 浅野自動車(株) 浅野善男 …… 生卵等
- 古川東中学校美術部 …… 手作りうちわ等
- 香川県丸亀市教育委員会 …… うちわ等
- 加美町農村生活研究グループ連絡協議会  
 やくらいおふくろ便 …… 大根、しそ、タマネギ等
- 風土の会 代表 二瓶瑠璃子 …… 雑誌等
- 笠原みつ(岡町) …… 帽子、靴下、Tシャツ等
- 鈴木うめ(下新田上) …… ささぎ等
- 福原やす子(大崎市) …… タマネギ、インゲン等
- 海鉾純(山形県天童市) …… サクランボ等
- 堀越久美子(広島県福山市) …… 傘、菓子等
- 匿名 …… 味噌田楽等

## 追悼セレモニー ～命のキャンドルデー～

震災から4か月目の7月11日、午後7時ごろから中新田交流センターの中庭で、東日本大震災で犠牲になられた方々を追悼する「命のキャンドルデー」が開催されました。

式の始めに、中新田縄文太鼓伝承会による踊りや演奏が披露され、後藤一磨さん(南三陸町)が避難者を代表し「忌まわしい震災から4か月。多くの皆さんに支えていただきました。そして、私たちと加美町の人との中で一つの歌が生まれました。私たちは、ここに避難して良かったとしみじみ思います。今日は、これから私たちが生きていくため、ふるさとを思いながらキャンドルにお祈りしたい」とあいさつ。次に200個のキャンドルに火が灯され、静かに黙とうが捧げられました。

続いて、福原やす子さん(大崎市)による「感謝のうた」の歌が披露され、その後、工藤真弓さん(南三陸町)が朗読。時折、空からぼつりと雨粒が降る中、言葉を詰まらせる場面もありました。

最後は、子どもたち8人が「感謝のうた」を合唱。工藤さんは「キャンドルを被災してすぐに使った時と、今日のような安心して見る時と、どっちの光も忘れてほしくない」と語っていました。

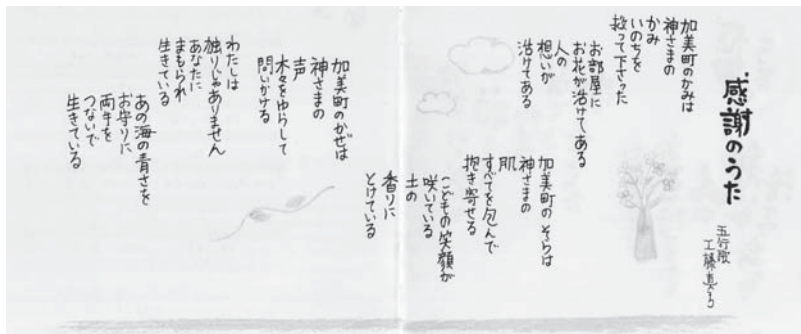
また、長沼太一さん(下野目)が用意した水槽いっぱいのに、参加者たちは、周りを囲んで無数の小さな光を見つめていました。



息のあった踊り(中新田縄文太鼓伝承会)



キャンドルを前に捧げられる祈り



「両手をつないで～ 生きている～♪」と合唱